

(06137848) 日本旅行健康保険組合 様 2020年度版 貴健保組合の健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2016~2018年度のデータに基づいて作成しています。

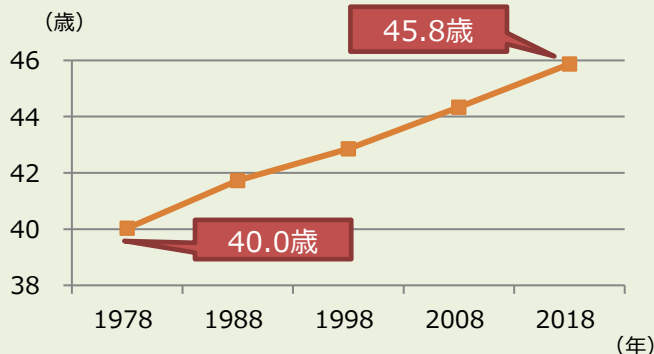
- 我が国は既に人口減少、超高齢化社会に突入し、深刻化する人手不足に加え、従業員の平均年齢の上昇による健康リスクの増大、生産性低下といった構造的課題に直面しています。
- 従業員がいつまでも元気で働き続けられる環境づくり、予防・健康づくりなくして、企業における持続的成長の実現は困難です。
- そのためには、健保組合と事業主(企業)が連携し、一体となって予防・健康づくりの取組を進める必要があります。
- 本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！



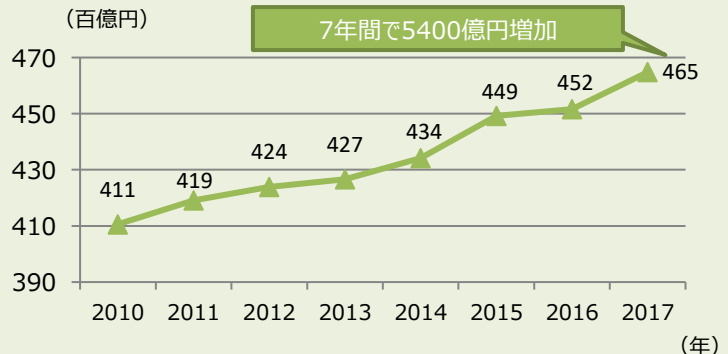
少子高齢化の進展や定年延長といった社会環境の変化に伴い、労働者の平均年齢の上昇に加えて、健保組合における医療費も増加を続けています。こうした中で、従業員等に対する予防・健康づくりの取組をより一層進めるために、事業主と健保組合による協働が求められています。

■ 就業者の平均年齢の推移



※総務省統計局「労働力調査」に基づく推計（5歳階級の中央の年齢に就業者数を乗じた値を積み上げ、全就業者数で除す方法で算出）。

■ 医療費の推移



※厚生労働省「医療保険に関する基礎資料～平成29年度の医療費等の状況～」に基づき作成。医療費は全健保組合の総額。

【本レポートで使用する用語の定義】

「組合」及び「健保組合」：健康保険組合 / 「全組合」：全健康保険組合 / 「医療費」：年間医療費 / 「特定健診」：特定健康診査 / 「業態」：健康保険組合における業態（29分類）

貴組合の業態は以下で表示

生活関連サービス業、娯楽業

貴健保組合の予防・健康づくりの取組状況と健康状況の概要

【貴組合の特定健診・特定保健指導の実施状況】

特定健診・特定保健指導



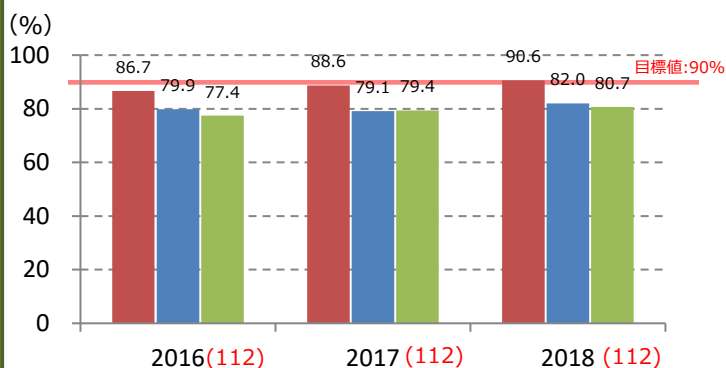
単一	組合順位	38位 / 1,114組合
全組合順位		53位 / 1,368組合

特定健診の実施率



1ランクUPまで (*1)

最上位です



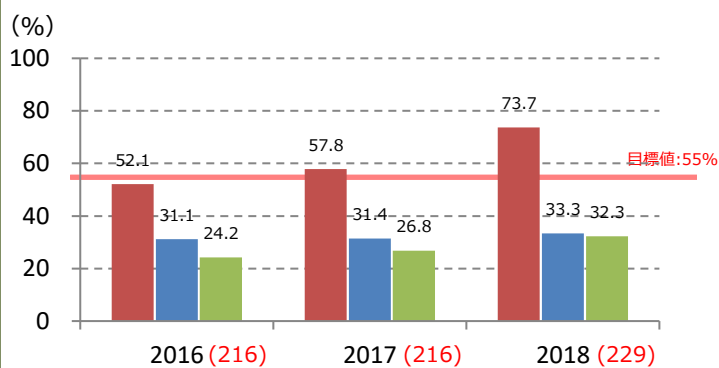
特定健診の実施率	2016	2017	2018
貴組合	86.7%	88.6%	90.6%
	186位 / 1,110組合	156位 / 1,117組合	100位 / 1,114組合
業態平均	79.9%	79.1%	82.0%
単一組合平均	77.4%	79.4%	80.7%

特定保健指導の実施率



1ランクUPまで (*1)

最上位です



特定保健指導の実施率	2016	2017	2018
貴組合	52.1%	57.8%	73.7%
	113位 / 1,109組合	119位 / 1,116組合	58位 / 1,114組合
業態平均	31.1%	31.4%	33.3%
単一組合平均	24.2%	26.8%	32.3%

※ 目標値は、第3期（2018～2023年度）特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。
 ※ 順位は、保険者種別（単一・総合）目標の達成率の高い順にランキング。
 ※ ()内の数値は、単一組合平均を100とした際の貴組合の相対値。

■ 貴組合 ■ 業態平均 ■ 単一組合平均

(*1) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安（実施人数）を記載

【貴組合の健康状況】 生活習慣病リスク保有者の割合

健康状況



* 数値が高いほど、良好な状態

肥満 (105)

[全組合平均：100]

(104) 血糖

血圧 (109)

(113) 脂質

肝機能 (107)

—●— 貴組合 - - - ● - - - 業態平均 - - - ● - - - 全組合平均

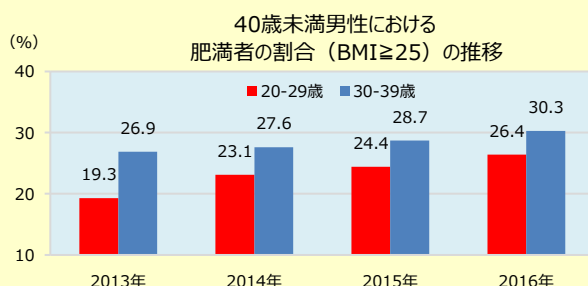
リスク	良好	← 中央値と同程度	→ 不良
肥満リスク	😊	😊	😐
血圧リスク	😊	😊	😐
肝機能リスク	😊	😊	😐
脂質リスク	😊	😊	😐
血糖リスク	😊	😊	😐

※ 2018年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

【参考】 若年層からの健康づくりへの取組が大事！

近年、20歳代の肥満者の割合が増加傾向にあり、若年層から健康づくりに取り組むことが重要です。

出典：平成29年国民健康・栄養調査より3年間の移動平均にて作成



貴健保組合の生活習慣

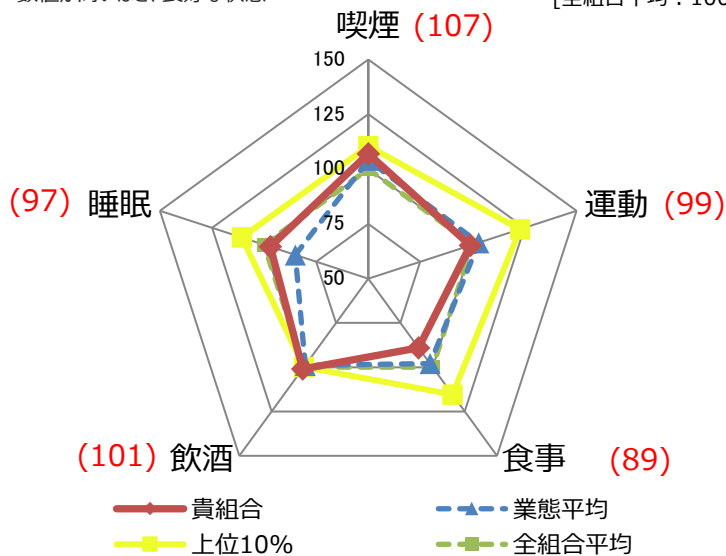
【貴組合の生活習慣】 適正な生活習慣を有する者の割合

生活習慣



* 数値が高いほど、良好な状態

[全組合平均：100]



リスク	良好	← 中央値と 同程度	→ 不良	ランクUPまで (*1)	
喫煙習慣 リスク	😊😊	😊	😐	😞😞	あと 27人
運動習慣 リスク	😊😊	😊	😐	😞😞	あと 12人
食事習慣 リスク	😊😊	😊	😐	😞😞	あと 28人
飲酒習慣 リスク	😊😊	😊	😐	😞😞	あと 44人
睡眠習慣 リスク	😊😊	😊	😐	😞😞	あと 31人

※ 2018年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。

(*1) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載

健康状況の経年変化	2016	2017	2018	
肥満	貴組合	105	102	105
	業態平均	111	110	108
血压	貴組合	111	107	109
	業態平均	121	124	125
肝機能	貴組合	106	104	107
	業態平均	114	113	113
脂質	貴組合	114	105	113
	業態平均	112	112	109
血糖	貴組合	105	107	104
	業態平均	120	119	117

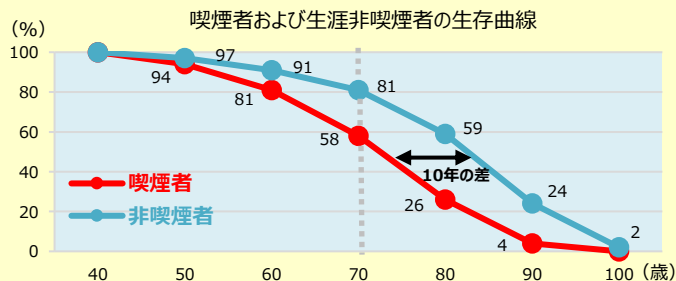
生活習慣の経年変化	2016	2017	2018	
喫煙	貴組合	106	107	107
	業態平均	105	104	104
	上位10%	111	110	110
運動	貴組合	101	99	99
	業態平均	105	107	103
	上位10%	126	126	123
食事	貴組合	90	90	89
	業態平均	94	93	98
	上位10%	109	106	115
飲酒	貴組合	100	100	101
	業態平均	99	99	99
	上位10%	101	99	100
睡眠	貴組合	99	98	97
	業態平均	84	87	85
	上位10%	112	110	111

【参考】 健康に働き続けるには禁煙が大事！！

非喫煙者と喫煙者では、70歳時点で、35歳からの生存率が前者は81%であるのに対し、後者は58%となっています。

健康に働き続けるためには禁煙することが重要です。

出典：Doll R, et al. : BMJ. 328(7455): 1519,2004より作図



全健保組合平均を100とした際の各組合の相対値を高い順に5等分し、「良好😊」から「不良😞」の5段階で表記しています。

(注) 【本レポートにおけるデータ対象】

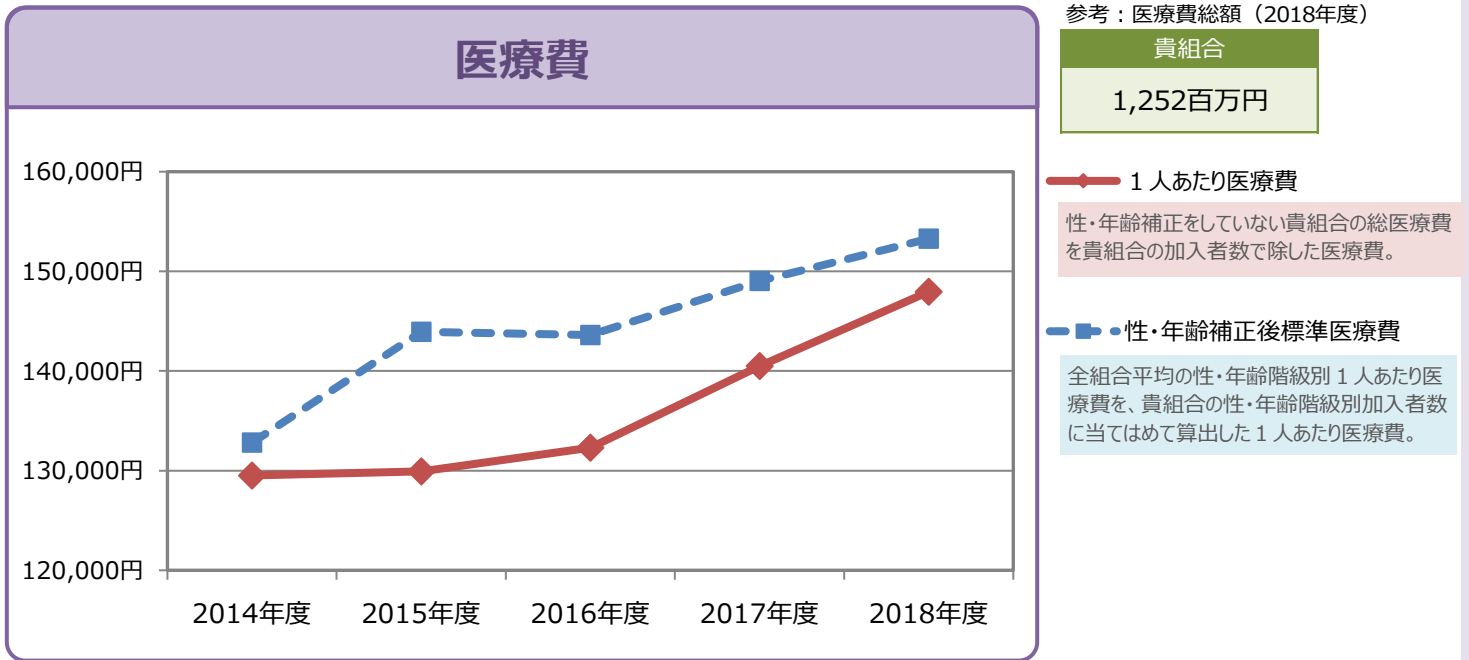
・医療費：全加入者 / 特定健診（健康状況・生活習慣）：40歳～74歳。

・健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入者数50名未満の場合データを非表示。

・合併のあった組合については、合併前の各組合のデータを合算して表示。

貴健保組合の医療費概要

【貴組合の医療費の状況】 1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1人あたり医療費	129,516円	129,936円	132,311円	140,486円	147,956円
性・年齢補正後標準医療費	132,805円	143,941円	143,621円	149,028円	153,273円

【貴組合の1人あたり医療費（2018年度）】

貴組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数
147,956円	153,273円	0.97

参考：貴組合の男女別・年代別1人あたり医療費（2018年度）

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代～
貴組合	160,547円	138,829円	70,390円	117,714円	137,276円	213,639円	290,151円
業態平均	136,892円	124,154円	70,696円	101,882円	132,975円	205,161円	334,241円
全組合平均	148,615円	154,746円	80,339円	109,754円	137,183円	211,798円	326,070円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」参照。

健康スコアリングレポート【レポート本紙】

2020年度版

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省